

2014-2015年度 香港リネン大学RAC受入事業 報告

地区RA代表 **北島一平**
(大阪御堂筋本町RAC)

2015年1月10日(土)~11日(日)の2日間、香港リネン大学RACのローターアクター 22名を受け入れました。

活動内容

- 1月10日(土)
終日 児童養護施設 生駒学園 訪問
夜 十日戎(今宮戎神社参拝)
- 1月11日(日)
午前 児童養護施設 遙学園 訪問
午後 阿倍野防災センター訪問

香港リネン大学RACは「Poor Children」をテーマに活動し、マレーシア等海外へ訪問し奉仕活動を行なっています。今回はリネン大学RAC会長のPhilip氏より、大阪での児童施設での共同奉仕活動の依頼がありました。また中長期計画の一つでもある国際奉仕+社会奉仕の規模拡大のきっかけ作りであると考え、今回の事業を開催しました。

児童施設は東大阪みどりロータリークラブの杉森様、箕面ロータリークラブ様にご紹介頂きました。

施設では広東語や英語の勉強、中国の伝統的なお菓子作り、アイスの棒を使ったブックマーク、ペン立て作り等様々なイベントを行い、あっという間に時間が過ぎていきました。様々な理由から施設で生活している子供達ですが、とても人懐っこく私達も元気を貰いました。

活動の中では、「生駒学園」の竹田理事長・主任指導の小田様、「遙学園」の村井園長から、要望を伺う時間がありました。

- ①子供達が外に出る場を増やしたい
 - ②継続的に子供達との交流を図って貰いたい
- というものが主な要望でした。

今までとは違った雰囲気を感じながら交流する事ができ、第2660地区全体に活動報告をする事で多くの人に知ってもらえると嬉しい限りです。

1月11日(日)の午後は大阪府立阿倍野防災センターにて、地震や火事などの災害が起こった際の対処法、救急措置などを学びました。阪神淡路大震災や東北地方太平洋沖地震の震度を肌で体感し、人命救助や消化器の使い方等を勉強する良い機会となりました。香港リネン大学RACメンバーは、これまで地震等の災害を体験した事がなく、このような施設も香港にはないとの事で、とても興味深く勉強になったと話していました。

今宮戎神社参拝、2回の懇親会を通じてアクター同士が積極的にコミュニケーションを取り、かけがえない仲間を作ることができました。この繋がりを今後も継続していきたいと考えています。

今回は香港リネン大学RACの提案で児童施設を訪問しましたが、今回限りの事業にするのではなく、今後2660地区の事業として、またサポートシステムの共同奉仕活動として継続していきたいと考えております。

今回の出会いを大切に、そしてきっかけにし、第2660地区をさらに盛り上げていきたいと思っております。東大阪みどりロータリークラブの杉森様、箕面ロータリークラブ様、児童施設を紹介して頂きありがとうございました。

